



り入れたのよ。



15年度予算では10億4千200万円を計上してますよね。そんなに赤字地方債を借り入れて大丈夫なんですか？



その元利償還金は100%[※]、後年度の普通交付税で地方に交付されることになっていくから、個々の自治体にとっては大丈夫だけど、地方全体にとっては大きな問題となってくるわ。

歳出の内容は



歳出〔表4〕は「款」別で出ていますね。土木費が前年度に比べて大きく増加していますね。



ええ、これは登別温泉ハイパスの整備として、道から委託を受けて実施した13億8千400万円ほどの事業費があったからよ。歳入も道から同額交付されるので、見かけ上、大きくなるのよ。



なるほど。それから衛生費も増えてますね。火葬場や新墓地の建設事業のために



それと千歳最終処分場を閉鎖する事業や旧清掃工場の焼却炉を解体してストックヤードとして活用するための事業を行っているからなの。ダイオキ

【表4】平成14年度の決算の歳出内訳 (前年度比較)

費目	平成14年度	平成13年度	増減
総務費	11億4,960万円	17億4,776万円	5億9,816万円
民生費	47億7,934万円	53億2,016万円	5億4,082万円
衛生費	15億6,526万円	10億6,095万円	5億 431万円
商工費	3億7,789万円	6億9,567万円	3億1,778万円
土木費	44億2,166万円	27億9,092万円	16億3,074万円
消防費	1億8,310万円	1億9,107万円	797万円
教育費	9億7,142万円	17億1,692万円	7億4,550万円
公債費	27億1,301万円	23億6,211万円	3億5,090万円
給与費	48億5,381万円	51億5,234万円	2億9,853万円
その他	4億 809万円	4億8,344万円	7,535万円
合計	214億2,318万円	215億2,134万円	9,816万円



シンなど有害な物質を撒き散らさないよう安全に閉鎖したり、解体するには多額の費用がかかるのよ。給与費は減っていますね。職員数も減ってきているし、14年度は職員の給与も下がりましたね。



それもあるし、あと退職者が少なかつたので、退職手当が減ったということもあるわ。

15年度は、管理職手当を減額したり、三役(市長・助役・収入役)や教育長の期末手当の率を下げたりしているのよ。



教育費も下がっているけど、13年度にはネイチャーセンターの建設事業があったからですね。



そのとおり。でも15年度は新市民プールの建設や若草小学校の大規模改修事業があるのよ、また増える見込みよ。



民生費は、児童手当や生活保護費など社会保障を扱う費目ですが、かなり減っていますね。



従来、市で行っていた国民年金保険料の徴収業務が14年度から国に移管したのよ。

それで、13年度には5億5千万円ほどあった国民年金印紙購入費が14年度では3千万円ほどに激減したのが主な理由なの。

公債費



公債費というのは、市債として借り入れたお金の償還費ですね。



正確には、年間の財務運営のために借り入れた一時借入金の利子が約200万円含まれているので、財政の指標として重要な長期債務に係る元金と利子の償還費は27億円くらいで、前年度に比べて、3億5千万円ほど増えているわ。



27億円というのは大きいですね。



ええ、平成9年度から平成11年度にかけて実施したクリンクルセンターの建設のために借り入れた多額の市債の元金償還が始まってきているからなのよ。



市債残高も増えていますね。



単純に考えると、一年間で新たに借り入れた金額が返した元金よりも多いと残高も増えつつけるのよ。【表6】の